科目ナンバー	SEM-1-002-ky			科目名 基礎演習 (佐藤高)						
教員名	-				T.		単位数	2		
概要		基礎演習 で身につけた力をもとに、教育に関わりのある時事問題や教員に求められている資質能力な どをテーマとして、主体的に学ぶ力を高めます。								
到達目標	基礎演習に受けた学びの技法を実践で使えるようにします。さらに、本演習では個人の技能を高めるだけでなく、協働学習に必要な技能を高めます。						 能を高			
「共愛12の力」と		· (()	- G-1,Z-1,B-C-1-1	-500,50						
共生のための知識	哉	自己を理解する力		伝え合う力	0	分析し、	分析し、思考するカ 〇			
共生のための態度		自己を抑制する力	0	協働する力	·るカ 〇 柞		構想し、実行するカ			
グローカル・マイ ンド		主体性	0	関係を構築する	係を構築する力		スキル	0		
教授法及び課題の フィードバック方 法 基礎演習「で身に付けた協働での学びをいっそう深化させることで、さらに議論を掘り下げた 目指します。 本演習ではグループワークと個人・グループ発表、個人レポート の提出を課します。各課題 適宜総評を伝えます。										
アクティブラーニ	ング	サービスラ	ラーニング		課題解決	型学修	型学修			
受講条件 前提 本演習は、児童教育コース1年の必修授業です。										
アセスメントポリシー及び評価方刻	の1以上の 本演習及び らびにリータ	平常点・授業や課題への取り組み(50%)レポートの内容・発表について(50%)なお、全授業回数の3分の1以上の欠席者は不合格にします。 本演習及び課題への取り組みでは、コミュニケーションスキルとしての伝え合う力や協働する力、ならびにリーダーシップ、自己を抑制する力、主体性を総合的に評価します。また、レポートの内容・発表では課題理解度、分析し思考する力、実践的スキルを総合的に評価します。								
教育に関わりのある時事問題や文献資料を教材とします。										
参考図書 各担当者から適宜紹介します。										
内容・スケジュー	ル									
1週目										
授業学修内容	夏休みの課題	発表会(各ゼミ)課題	図書の購入	・提示。						
授業外学修内 容	担当者から提	登当者から提示された課題図書を読んでくること。 時間数 4					4			
2週目										
授業学修内容	課題図書の輪読・ディスカッション									
授業外学修内 容	ディスカッション	ディスカッションを踏まえ自分の意見をまとめておくこと。 時間数 2				2				
3週目										
授業学修内容	大学祭に向けて	大学祭に向けての準備1								
授業外学修内 容	内 話し合いおよび準備を進めておくこと。		Ł.				数	4		
4週目						_				
授業学修内容	コース奨学金	表彰式テーマを深める	る1 深める⁄	ヾきテーマの探す	ド、調査・分析					
授業外学修内 容	話し合いおよび	バ準備を進めておくこ	.ك.			時間	数	4		
5週目	•						l	•		
授業学修内容	大学祭に参加して気付いたこと、今後の課題について討論する。テーマを深める2深めるべきテーマの決定									
授業外学修内 容		次年度の大学祭に向けて準備をしておくこと。ディスカッションに向けて準 備をしておくこと。テーマに関して資料収集等を行っておくこと 時間数 4				4				
6週目				· -				1		
	テーマを深める	 33ディスカッション								

授業学修内容 テーマを深める4発表・ディスカッション 投業外学修内 アイスカッションを踏まえて、自分の意見をまとめておくこと。 時間数 2 日	授業外学修内 容	発表準備に向けて自分の意見をまとめておくこと。	時間数	2				
	7週目							
会 アイスカッションを踏まえて、自分の意見をまとめておくこと。 時間数 2 日菜半條内容 アーマを深める5発表・ディスカッションを踏まえて、自分の意見をまとめておくこと。 時間数 2 日菜半條内容 教育議演会 講演会の課題感想文をまとめ、KCGへ。 時間数 2 日の週目 日葵業・修内容 教育議演会 講演会の課題感想文をまとめ、KCGへ。 時間数 2 日の週目 日葵業・修内容 せこごとに深めたテーマの内容をパワーボイントにまとめる1発表内容の構成を考える 日東部数 2 日本の投業外学修内容 スポーツ・レクリエーション交流会(合同ゼミ)体育館で行うので運動着及び上靴を準備すること。 日本の 発表の準備を進めておくこと。 時間数 4 日本の代表を作成する 日本の作成を進めておくこと。 日本の作成を進めておくこと。 日本の作品 日本の作成を進めておくこと。 日本の作品								
授業学修内容 テーマを深める5発表・ディスカッション 授業外学修内容	授業外学修内 容	ディスカッションを踏まえて、自分の意見をまとめておくこと。	時間数	2				
	8週目							
特別数 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2	授業学修内容	テーマを深める5発表・ディスカッション						
授業学修内容 教育講演会 講演会の課題感想文をまとめ、KCGへ。 時間数 2 10週日	授業外学修内 容	ディスカッションを踏まえて、自分の意見をまとめておくこと。	時間数	2				
程業外学修内	9週目	9週目						
容 講演会の課題思想又をまとめ、KCGへ。 時間数 2 10週目 授業学修内容 ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる1発表内容の構成を考える 授業外学修内 発表の準備を進めておくこと。 時間数 2 11週目 大農業学修内容 スポーツ・レクリエーション交流会(合同ゼミ)体育館で行うので運動着及び上靴を準備すること。 長農業外学修内 発表の準備を進めておくこと。 時間数 4 12週目 授業学修内容 ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる2スライドを作成する 授業外学修内 スライドの作成を進めておくこと。 時間数 4 13週目 セミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる3スライドの修正 授業学修内容 ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる3スライドの修正 授業外学修内 スライドを完成させておくこと。 時間数 4 14週目 授業学修内容 全体発表会1班ごとの研究成果を発表する。 探表が終わった班は、振り返りをおこなっておくこと。 境りの班は、次回の発 会の準備をしておくこと。 時間数 4 15週目 全体発表会2班ごとの研究成果を発表する。レポート課題の出題(発表会おとび基礎演習での学びのまと か)。 基礎演習で使用した資料や成果をファイルにまとめておくこと。レポート課題を提出すること。なお、これまでの学修に際して参考としてきた文献につい 店間数 6 1500 長期数 7 150	授業学修内容 教育講演会							
授業学修内容 だことに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる1発表内容の構成を考える 授業外学修内 容	授業外学修内 容	講演会の課題感想文をまとめ、KCGへ。	時間数	2				
授業外学修内 容	10週目							
	授業学修内容	ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる1発表内容の構成を考える						
技業学修内容 スポーツ・レクリエーション交流会(合同ゼミ)体育館で行うので運動着及び上靴を準備すること。 技業外学修内 発表の準備を進めておくこと。 時間数 4 日 12週目 日	授業外学修内 容	発表の準備を進めておくこと。	時間数	2				
投業外学修内 発表の準備を進めておくこと。 時間数 4 12週目 接業学修内容 ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる2スライドを作成する 投業外学修内 スライドの作成を進めておくこと。 時間数 4 13週目 接業学修内容 ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる3スライドの修正 投業学修内容 スライドを完成させておくこと。次回の発表会の準備をしておくこと。 時間数 4 14週目 接業学修内容 全体発表会1班ごとの研究成果を発表する。 投業外学修内 発表が終わった班は、振り返りをおこなっておくこと。残りの班は、次回の発表会の準備をしておくこと。 時間数 4 15週目 日 接換 日 接換 上記の授業外学修内 基礎演習で使用した資料や成果をアテイルにまとめておくこと。レポート課題を提出すること。なお、これまでの学修に際して参考としてきた文献につい 下間数 6 日 上記の授業外学修時間の合計 50 50 日 日 日 日 日 日 日 日 日	11週目							
容 発表の準備を進めておくこと。	授業学修内容	修内容 スポーツ・レクリエーション交流会(合同ゼミ)体育館で行うので運動着及び上靴を準備すること。						
授業学修内容 ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる2スライドを作成する 授業外学修内 スライドの作成を進めておくこと。 時間数 4 13週目 授業学修内容 ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる3スライドの修正 授業外学修内 スライドを完成させておくこと。次回の発表会の準備をしておくこと。 時間数 4 14週目 授業学修内容 全体発表会1班ごとの研究成果を発表する。 授業外学修内 発表が終わった班は、振り返りをおこなっておくこと。残りの班は、次回の発表会の準備をしておくこと。 15週目 と 全体発表会2班ごとの研究成果を発表する。レポート課題の出題(発表会おとび基礎演習での学びのまと が)。 基礎演習で使用した資料や成果をアテイルにまとめておくこと。レポート課題を提出すること。なお、これまでの学修に際して参考としてきた文献につい で、次年度1年生向けの推薦文を付すこと。 50	授業外学修内 容	発表の準備を進めておくこと。	時間数	4				
投業外学修内 スライドの作成を進めておくこと。 時間数 4 13週目 接業学修内容 ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる3スライドの修正 投業外学修内容 スライドを完成させておくこと。次回の発表会の準備をしておくこと。 時間数 4 14週目 接業学修内容 全体発表会1班ごとの研究成果を発表する。 投業外学修内 発表が終わった班は、振り返りをおこなっておくこと。 時間数 4 15週目 日 日 日 日 日 日 日 日 日	12週目							
容 スライドの作成を進めておくこと。 時間数 4 13週目 授業学修内容 ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる3スライドの修正 授業外学修内 スライドを完成させておくこと。次回の発表会の準備をしておくこと。 時間数 4 14週目 授業学修内容 全体発表会1班ごとの研究成果を発表する。 授業外学修内 発表が終わった班は、振り返りをおこなっておくこと。残りの班は、次回の発表会の準備をしておくこと。 15週目 授業学修内容 全体発表会2班ごとの研究成果を発表する。レボート課題の出題(発表会おとび基礎演習での学びのまとめ)。 提業外学修内容 基礎演習で使用した資料や成果をファイルにまとめておくこと。レポート課題を提出すること。なお、これまでの学修に際して参考としてきた文献について、次年度1年生向けの推薦文を付すこと。 上記の授業外学修時間の合計 50	授業学修内容	ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる2スライドを作成する						
授業学修内容 ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる3スライドの修正 授業外学修内 スライドを完成させておくこと。次回の発表会の準備をしておくこと。 時間数 4 14週目 授業学修内容 全体発表会1班ごとの研究成果を発表する。 授業外学修内 発表が終わった班は、振り返りをおこなっておくこと。残りの班は、次回の発表会の準備をしておくこと。 15週目 全体発表会2班ごとの研究成果を発表する。レポート課題の出題(発表会おとび基礎演習での学びのまと め)。 基礎演習で使用した資料や成果をファイルにまとめておくこと。レポート課題を提出すること。なお、これまでの学修に際して参考としてきた文献につい で、次年度1年生向けの推薦文を付すこと。 50	授業外学修内 容	スライドの作成を進めておくこと。	時間数	4				
授業外学修内	13週目							
容 スライトを元成させておくこと。次回の発表会の準備をしておくこと。 時間数 4 14週目 授業学修内容 全体発表会1班ごとの研究成果を発表する。 授業外学修内 発表が終わった班は、振り返りをおこなっておくこと。残りの班は、次回の発表会の準備をしておくこと。 15週目 授業学修内容 全体発表会2班ごとの研究成果を発表する。レポート課題の出題(発表会おとび基礎演習での学びのまとめ)。 基礎演習で使用した資料や成果をファイルにまとめておくこと。レポート課題を提出すること。なお、これまでの学修に際して参考としてきた文献について、次年度1年生向けの推薦文を付すこと。 上記の授業外学修時間の合計 50	授業学修内容	ゼミごとに深めたテーマの内容をパワーポイントにまとめる3スライドの修正						
授業学修内容 全体発表会1班ごとの研究成果を発表する。 授業外学修内 発表が終わった班は、振り返りをおこなっておくこと。残りの班は、次回の発表会の準備をしておくこと。 15週目 授業学修内容 全体発表会2班ごとの研究成果を発表する。レポート課題の出題(発表会おとび基礎演習での学びのまとめ)。 基礎演習で使用した資料や成果をファイルにまとめておくこと。レポート課題を提出すること。なお、これまでの学修に際して参考としてきた文献について、次年度1年生向けの推薦文を付すこと。	授業外学修内 容	スライドを完成させておくこと。次回の発表会の準備をしておくこと。		4				
授業外学修内容 発表が終わった班は、振り返りをおこなっておくこと。残りの班は、次回の発表会の準備をしておくこと。 15週目 授業学修内容 全体発表会2班ごとの研究成果を発表する。レポート課題の出題(発表会おとび基礎演習での学びのまとめ)。 授業外学修内容 基礎演習で使用した資料や成果をファイルにまとめておくこと。レポート課題を提出すること。なお、これまでの学修に際して参考としてきた文献について、次年度1年生向けの推薦文を付すこと。	14週目							
容 表会の準備をしておくこと。	授業学修内容	全体発表会1班ごとの研究成果を発表する。						
授業学修内容 全体発表会2班ごとの研究成果を発表する。レポート課題の出題(発表会おとび基礎演習での学びのまとめ)。 授業外学修内 基礎演習で使用した資料や成果をファイルにまとめておくこと。レポート課題を提出すること。なお、これまでの学修に際して参考としてきた文献について、次年度1年生向けの推薦文を付すこと。	授業外学修内 容			4				
授業学修内容 め)。 授業外学修内 容 基礎演習で使用した資料や成果をファイルにまとめておくこと。レポート課題を提出すること。なお、これまでの学修に際して参考としてきた文献について、次年度1年生向けの推薦文を付すこと。 上記の授業外学修時間の合計 50	15週目							
授業外字修内 題を提出すること。なお、これまでの学修に際して参考としてきた文献につい 時間数 6 て、次年度1年生向けの推薦文を付すこと。 50	授業学修内容	8内 図						
	授業外学修内 容	題を提出すること。なお、これまでの学修に際して参考としてきた文献につい		6				
その他に必要な自習時間 40	上記の授業外学修時間の合計		50					
	その他に必要な自習時間 40							

Number			Freshman Basic Seminar II				
Name	佐藤 高司(Sato Takashi)	Year and S emester	Second semester for 2020	Credits	2		
utline U	Based on the skills we gained in "Freshman Basic Seminar I", we will increase our ability to learn proactively with themes such as current issues related to education, and the qualities and profic iencies required for educators.						